

第17回子ども・子育て分科会における意見について

1. 調査全般

ご意見・ご質問内容		回答等
回収率を上げる方策	ランダムに選出した3,000名に加え、回答条件に合った希望者にも回答していただく。市内には今後の施策に関心のある保護者も多くいる。例えば毎月の広報よこすかに案内を出し、回答を条件に希望者には市より配布して回答いただくことで回答数が増える。また、アンケート実施者に該当した方から口コミで友人など他の人をご紹介いただくこともOKとすると回答数が増える。	今回のニーズ調査は、全体のスケジュールが限られているため、抽出した3,000人(計6,000人)のみの調査とさせていただきます。ただし、回収率を上げる方策は必要ですので、関係機関等でのチラシの掲示などを行っていく予定です。
	封書に答えたいと感じる啓発チラシを同封する。文章の案内に加え、イラストを中心にしたチラシを同封し、アンケートがどのように生かされるのか、今後の保育園や放課後児童クラブなどのサービスに影響を与えるか、などが伝わるイラストやデザインで直感的に大切と感じていただければどうか。	調査目的等を記載した文章(資料5、資料8)は同封する予定です。
	学校にて朝の会などに10分程度いただき、その場で回答、その場で回収する。	こども育成部の調査のため、ご提案の実施は難しいですが、実態調査の調査票配布について、学校のご協力をいただく予定です。
前回のニーズ調査時の項目別の回答率		別紙資料のとおり

2. ニーズ調査について

(1) 就学前児童

設問番号	国	ご意見・ご質問内容	回答等
4	○	調査票への回答は夫婦共に、または母と祖母で考えて回答するケースも想定されるため、複数回答を可とするか、各家庭へ2人分の回答配布が望ましい。	当該設問は、ニーズ量推計の基礎となる家庭類型を算出するための設問であり、複数回答を可とした場合、ニーズ量推計に支障が生じるため、当初案どおりとします。 同様に1世帯に配布する調査票を増やすことはニーズ量の把握に支障が生じるため、当初案どおりとします。

設問番号	国	ご意見・ご質問内容	回答等
5	◎	各家庭に様々な事情がある。(結婚しているが別居中等) 配偶者の有無だけでなく、生活を共にするパートナー等、標記の工夫が必要。	当該設問は、ニーズ量推計の基礎となる家庭類型を算出するための設問です。家庭類型は、大きく分け、ひとり親家庭、専業主婦(夫)家庭、共働き家庭になるため、回答の選択肢を増やさなくても国が求めるニーズ量は把握できるため当初案どおりとします。
		2ページ表題「こどもの育ちをめぐる環境についてうかがいます」⇒「現在の子育ての環境についてうかがいます」	ご意見どおり修正します。(小学生調査も同様)
14		保育所に預けている世帯は就業中の方が基本となる。単純に子育てのみでなく、子育てと仕事・家事を両立していることへのストレスが多いのが実態である。回答の選択肢に「自分の時間がない」「休息する時間がない」「仕事と育児の両立が大変」「職場の理解が得られない」などもあると実態が把握できる。	前回のニーズ調査結果として、その他の回答が17.5%あったため、その他で回答が多かった「自分(保護者)の時間がないとき」「子どもが親の言うことを聞かないとき」を加えます。(小学生調査も同様)
16		回答の選択肢「仕事と家庭生活の両立」は支援内容になっていないため、両立支援に向けた「職場の理解促進」や「父親の育児参画促進」など具体的な支援内容が適切でないか。	前回のニーズ調査結果として、同様の選択肢を設定し、「仕事と家庭生活の両立」について、34.1%の回答があり(2位)、趣旨は理解されていると考えられる。ただし、「仕事と家庭生活の両立支援」に修正します。(小学生調査も同様)
17		当該設問は、現在の環境における理想の人数を回答することも考えられる。 例えば、保育園が入れるかわからず不安、費用が大変、職場や父親の協力が少ない、そんな中での理想は2人かもしれない。しかし保育園は駅の近くの良質の保育園に入れ、保育料の費用負担が大きくない、何回も育休を取得して時短勤務でも肩身が狭くないなどの環境がある中での理想と聞かれれば3、4人などと答えるかもしれない。	ご意見として頂戴させていただきます。 当該設問については、前回の調査結果等と比較するなど推移を整理していきたいと考えています。
17-1		母親一人で育児を行うことの大変さを感じている方がいると思う。回答の選択肢に「家族の協力が少なく今以上は大変と感じる」などもあるとより実態が把握できるのではないか。	前回のニーズ調査結果として、その他の回答が13.4%あり、その他ではご意見の回答は少なかったですが、回答が多かった「現在ひとり親世帯のため」を加えます。(小学生調査も同様)
17、17-1		問17、17-1は必要ないのではないか。	少子化対策の基礎資料とするため、当初案どおりとします。(小学生調査も同様)

設問番号	国	ご意見・ご質問内容	回答等
18	◎	昨今の職業事情から選択肢にフリーランスなどもあってよいのではないかと。また時短勤務者はどの選択肢になるのか。	当該設問は、ニーズ量推計の基礎となる家庭類型（保育を必要とする世帯等）を算出するための、就業状況の把握が調査目的となります。そのため、当初案どおりの選択肢とします。 また、時短勤務者は時短前の時間により回答いただきたいので、説明を加えます。
19-3	○	勤務先の住所の設問があれば、より実態が把握できるのではないかと。	当該設問は、ニーズ量推計の際に計画上の広域調整のための設問であります。ただし、国のひな形に広域調整の記載がありますが、神奈川県内では計画上の広域調整は記載していないため、当初案どおりとします。
19-5	○	選択肢に「利用したいが、家族や職場の理解がない」などもあるのではないかと。	前回のニーズ調査結果の、その他の回答の中で、ご意見の回答がなかったため、当初案どおりとします。
20	◎	選択する前提を入れたほうが本音を把握できるのではないかと。（近所に各事業所があるとすると、時間は7時～19時まで預けられるとするとなど）	細かい設定を入れることによりニーズ量が過小になる可能性もあるため、当初案どおりとします。
21		親として考えた時、どれも大切であり3つに絞るのはいかがかと。（この質問を元に方針を決定することは本質的な課題解決や望ましい未来には結びつかないのではないかと）	全ての項目が大切であります。事業者が、調査結果を参考にできることを目的としていますので、当初案どおりとします。（回答は3つまで）
22		問21と同様。実現できること、出来ないことはあると思うが、それぞれの立地、事業所にあった施策を実施し最大限かなえていくことが大切である。またはもう少し優先順位をつけるための意図を明確にした選択肢が望ましい。	
23	◎	「愛らんど」、「わいわい広場」を知っているかの質問を入れてほしい。	「愛らんや、わいわい広場を知らない」を追加します。

設問番号	国	ご意見・ご質問内容	回答等
25	○	<p>子育て支援事業、病児保育、一時預かり、ファミリー・サポート・センターなどについては、利用しているかの質問と同時に、各事業について「知っていますか？」（知らない、名前を聞いたことがあるが、事業内容は知らない、知っている）の質問追加を希望する。</p> <p>事業名と事業内容の認知度により、今後の各事業の案内方法なども検討していく必要がある。（知らない、または事業内容をよく知らないので利用しない方が多くいる）</p>	問25を整理し、事業を追加します。
25	○	<p>子育て支援事業、病児保育、一時預かり、ファミリー・サポート・センターなどについて利用していない場合にそれぞれに理由を質問すると消費者ニーズが把握できる。（開館日、利用可能時間、場所、事業の質など。</p> <p>また、「利用していない」に加え、「利用できなかった」も聞いてほしい。</p>	病児保育事業を、利用しない理由を問28-4で聞いているため、当初案どおりとします。（その他の事業についてはボリュームの関係上、当初案どおりとします。）
23～25	◎	<p>前回のニーズ調査において、横須賀市の事業である「わいわい広場」と地域の社会福祉協議会等が主催する「子育て広場やサロン」を利用者が混同してアンケートに答えたため、正確な調査結果を得られなかったため、混同されないよう設問の工夫が必要である。</p>	内容を整理し、修正します。
27-1	○		<p>前回のニーズ調査結果として、その他の回答が24.3%あり、その中で回答が多かった「子どもの生活習慣の定着のため」を加えます。また、選択肢の表現をわかりやすく修正します。</p>
28-1	◎	<p>親が見た日数を正確に覚えていない方が多く、回答しづらいと感じる。約○日など回答しやすい工夫が必要である。</p>	当該設問は、国のひな形に準じた設問であるため、当初案どおりとします。
28-4	○	<p>選択肢に「事業内容がよく知らない」「事業内容がよくわからず不安」なども実際にあるかと思う。</p>	<p>前回のニーズ調査結果として、その他の回答が25.0%あり、その他で回答ではご意見の回答は少なかったですが、回答が多かった「親がそばにいてあげたい」を加えます。また、選択肢の表現をわかりやすく修正します。</p>
28-6	○	<p>選択肢に「業務内容等の都合から突発的に仕事を休むことが難しい」「業務内容、職場環境等の都合から数日まとめて仕事を休むことが難しい」などもあるとより実態が把握できる。</p>	<p>前回のニーズ調査結果として、その他の回答が38.3%あり、その他で回答が多かった「仕事が忙しく休みづらい」を加えます。</p>

設問番号	国	ご意見・ご質問内容	回答等
29	◎	選択肢に「利用できなかった」があると望ましい。一時預かりは倍率が高く、申込み開始日に申込みをしても予約がとれないこともある。また実際には申込み開始日以降に利用したい自由が発生することもあり利用できない実態がある。また利用していない理由に「利用したい時間にサービスがない」を追加が望ましい。	前回のニーズ調査結果として、その他の回答が8.4%あり、その他で回答ではご意見の回答は少なかったため、当初案どおりとします。
36	○	「ご意見」だけでなく、「ご意見・ご要望」とし、ご自由に記入と言われても書きにくいと感じてしまうので、例をあげると良い。	「ご意見・ご要望」とします。また、当該設問は自由なご意見を頂戴したいと考えていますので、例示は記載しません。（小学生調査も同様）

(2) 小学生

設問番号	国	ご意見・ご質問内容	回答等
		2ページ表題「こどもの育ちをめぐる環境についてうかがいます」⇒「現在の子育ての環境についてうかがいます」	ご意見どおり修正します。（就学前調査も同様）
16、16-1		問16、16-1は必要ないのではないかと。	少子化対策の基礎資料とするため、当初案どおりとします。（就学前調査も同様）
16-1		母親一人で育児を行うことの大変さを感じている方がいると思う。回答の選択肢に「家族の協力が少なく今以上は大変と感じる」などもあったとより実態が把握できるのではないかと。	前回のニーズ調査結果として、その他の回答が13.4%あり、その他ではご意見の回答は少なかったですが、回答が多かった「現在ひとり親世帯のため」を加えます。（就学前調査も同様）
18		利用していない方について、理由を尋ねる質問があると消費者ニーズが把握できる。（時間、場所、内容など）	放課後児童クラブを、利用しない理由を問21で聞いているため、当初案どおりとします。（その他の事業についてはボリュームの関係上、当初案どおりとします。）また、問21の選択肢に「就労しているが、子どもの帰宅時には家にいる」を加えます。
23		放課後児童クラブについて、利用している方、利用していない方を問わず、要望、意見などを自由に記載いただく欄を設けてほしい。	小学校調査において、放課後児童クラブのボリュームが既に多く、また、問19-1、問21において利用する理由、利用しない理由を設問として設けているため、当初案どおりとします。

設問番号	国	ご意見・ご質問内容	回答等
27		わいわいスクール、放課後子ども教室などへの要望に関してたくさん記載したい方もいるため、記入枠を広げてみるのは如何か。	紙面上できる範囲で広げます。
27		また、できれば、各事業を記載しておき、それぞれに対する意見をいただき、最後にその他の欄も設けるのは如何か。	ボリュームの関係上当初案どおりとします。
27	○	「ご意見」だけでなく、「ご意見・ご要望」とし、ご自由に記入と言われても書きにくいと感じてしまうので、例をあげると良い。	「ご意見・ご要望」とします。また、当該設問は自由なご意見を頂戴したいと考えていますので、例示は記載しません。（就学前調査も同様）

3. 実態調査

設問番号	ご意見・ご質問内容	回答等
保護者票 6	住居が異なる親族の介護をしている方も多くいるため、同居に加え、住居が異なる家族に介護者がいるかも質問することが望ましい。	(別居家族の介護を含む) を加えます。
保護者票 16、18	平均的な費用や年収等の金額は、少し細かいのではないか。	他都市の事例を参考とし、この選択肢としているため、当初案どおりとします。
子ども票 小5：29 中2：30	日々の生活で困っていることを書くようになってきているが、何を具体的に困っているか例をあげても良いのではないか。	当該設問は自由なご意見を頂戴したいと考えていますので、当初案どおりとします。
全般	小学5年生に対する質問の言葉の書き方を振り仮名を付けるだけでなく、理解できるのかをどなたかに確認した方が良いのではないか。	他都市の事例を参考に、庁内関連部局に照会しているため、当初案どおりとします。
全般	調査票を持ち帰らせるようになってきているが、中学生が持ち帰るか疑問である。	他都市の事例を参考に今回の調査方法としています。